

令和2年度 公益財団法人西郷南洲顕彰会事業計画

I 基本方針

令和2年度は、鶴丸城御楼門の完成やかごしま国体・かごしま大会の開催に伴い、多くの方が鹿児島を訪れると考えております。このような中、観光客や大会関係者等へのおもてなしの更なる充実を図るとともに、引き続き明治維新先覚者（以下西郷南洲翁等）に関する知識の普及や啓発並びに西郷南洲顕彰館の効率的な管理運営に努めます。また、これまで培った多くのレファレンス業務等から得た実績を基に、西郷南洲翁等の顕彰活動の充実を図ります。

西郷南洲翁等の偉業遺徳をより深く顕彰するとともに、その事績及び精神的遺産を後世に継承するための研究調査及び一般への啓蒙活動を行いながら、青少年の教育と健全な育成に寄与するという設立目的を基に事業を展開します。

また、西郷南洲顕彰館の指定管理者として、円滑かつ効果的な管理運営を図り、市民に親しまれる館づくりに努めるとともに、市民サービスの向上や効率的な管理運営に努めます。このほか、施設の良い維持管理のため、日々の保守点検を確実に実施します。

併せて、特別企画展や講演会・各種講座を開催するとともに、常設展示等の内容の充実を図り観光客等の利用促進を図ります。また、西郷南洲翁等や西南戦争に関する多種多様なレファレンス業務に対応します。

このほか、引き続き、理事会、評議員会を開催し円滑な事業運営を図ります。

Ⅱ 事業の概要

【公益目的事業】

<受託事業>

1 西郷南洲顕彰館管理受託事業

鹿児島市より指定管理者として指定を受け、より効果的かつ効率的な管理運営を行います。また、これまでの実績や経験を生かしながら、多くの市民に西郷南洲翁等への理解を深める館としてご利用いただけるよう、積極的な運営に努めてまいります。

(1) 敷地、建築物及び付属設備等の維持管理

館の敷地、建築物・展示物等の施設及び付属設備・備品の維持管理を適切に行い、安全で快適な利用しやすい施設となるように努めます。

(2) 特別企画展の開催

例年同様に特別企画展を開催します。

- ①「西郷南洲翁と学校」・・・5/1(金)～8/30(日)
- ②「西郷南洲翁と下加治屋町の偉人たち」・・・9/1(火)～1/11(月)
- ③「珠玉の寄贈資料展」・・・1/13(水)～3/28(日)

(3) 講演会、講座の開催

特別展開催期間中に、特別展の趣旨や内容をより理解いただくために講演会を開催します。また、引き続き古文書講座等の歴史講座を開催します。

2 南洲公園駐車場鍵開閉業務受託

鹿児島市との契約に基づき、南洲公園駐車場の鍵開閉業務を適切に行います。講演会や講座等で多くの利用者が予想される際は、スタッフが誘導にあたります。

3 学芸員実習受入れ

学芸員実習生を受け入れ、博物館等の専門知識を有した学芸員が実習や指導を行います。

<自主事業>

1 講座等の開催

(1) 南洲遺訓学習会

西郷南洲翁等や西南戦争をテーマにした学習会を開催します。毎月第4土曜日、午後2時～4時。西郷南洲翁の遺訓朗読や詩吟朗詠も行います。

(2) 夏休み親子歴史教室

夏休み期間中に2回、西郷南洲翁をテーマにした歴史教室や参加者が実際に体験

できる歴史文化教室を開催します。西郷南洲翁のアニメ上映や、映像を使った講話、体験教室を行う中で、西郷南洲翁や郷中教育の歴史の一環について親子で語り合い、学び合うことを目的としています。参加後は西郷南洲顕彰館を見学いただきます。

2 催し等

(1) 西郷どんの遠行（第49回）

郷中教育の一環である山坂達者を取り入れた西郷南洲翁の史跡巡り遠行を行います。各ポイントでは、シニアガイドが説明を行い、参加者へ記念品を配布します。参加児童・生徒から感想文を募集し、機関誌「敬天愛人第39号」に掲載します。

・開催日・・・令和2年9月22日（火）

(2) 西南の役を偲ぶ旅（第44回）

延寿寺や段山古戦場跡碑、熊本城など熊本市を中心に西郷南洲翁や西南戦争に関係する史跡を訪れる旅を令和2年10月26日（月）に計画しています。講演会や講座、ホームページ等で参加者を募集します。

3 機関誌の発行

「敬天愛人第38号」を発行します。編集は公益財団法人西郷南洲顕彰会専門委員会が行います。

・発行日・・・令和2年9月24日（木）

・発行部数・・・2,000部

・主な配布先・・・国立国会図書館、都道府県立図書館、鹿児島県下の小中学校・高校・短大・大学・教育委員会・公立図書館、関連施設、賛助会員等

・編集・・・公益財団法人西郷南洲顕彰会専門委員会

・編集会議・・・2回

4 その他

(1) シニアガイドの活動

登録シニアガイドが観光シーズン等に館内のガイドにあたります。また、西郷どんの遠行では、各ポイントで参加者への説明を行います。

(2) 資料の収集

令和1年度に引き続き、寄贈・寄託資料の申入れに対応します。資料については、博物館等の専門知識を有した学芸員及び補助職員により、体系的に整理し、収蔵庫に保管します。

(3) 児童、生徒への学習支援

総合的な学習等で入館する児童、生徒へ、館内案内や歴史講話を実施し、学習支援を行います。

＜賛助会員＞

講演会や講座等で入会案内を配布する等、会員数増加のための取組を行います。

【収益事業】

自主事業等の財源を確保するために、ミュージアムショップの運営や通信販売、西郷南洲翁の遺墨の鑑定を実施します。ミュージアムショップは、陳列の工夫や通信販売の対応を見直すとともに、販売品の充実に努めます。

【法人に関する事項】

理事会、評議員会等を開催し、事業展開に反映させるとともに円滑な事業運営を行います。